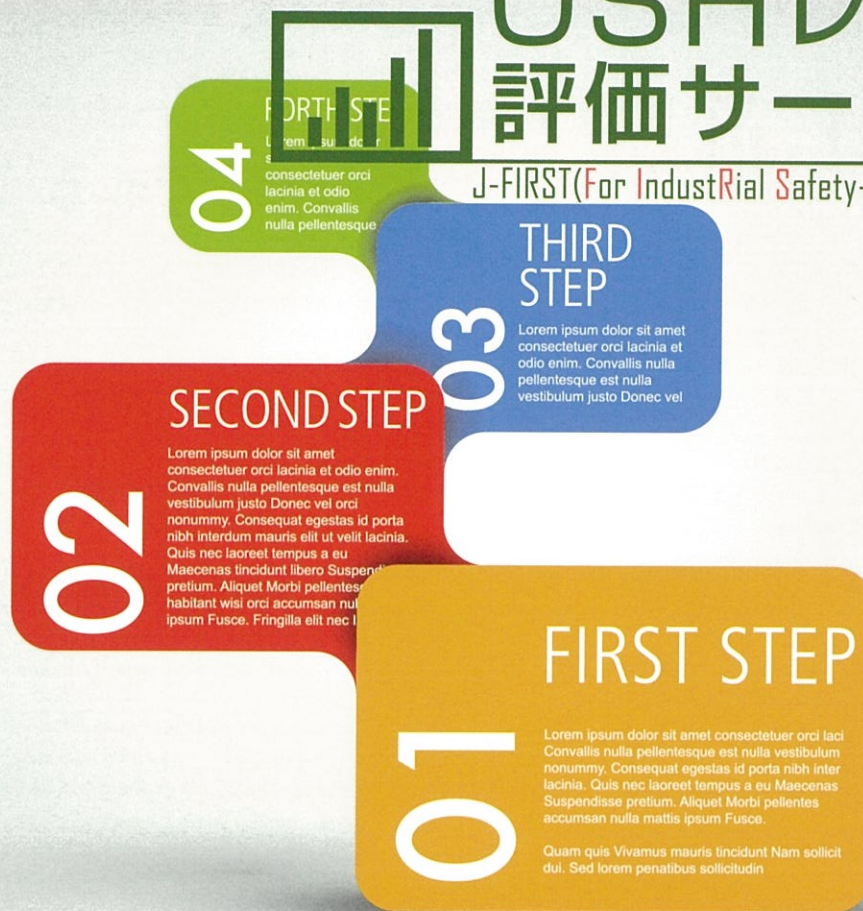


OSHレベル 評価サービス

J-FIRST(For Industrial Safety-culture development)



個々が行動する文化の醸成 と考える安全構築のために

1. 組織の労働安全衛生レベルを定量的に評価致します

具体的な実施項目も含めた総合的な評価を受けることで自社に不足する取り組み内容を容易に把握可能

2. 効率的に向上する手法(How to)を得ることが可能です

3. OSHレベルを更に向上させるサポートが可能

サービス
の特徴

本サービスは中災防と DNV GL の共同開発です

開発に
あたって

中災防は、企業の安全衛生活動に取り組む組織を、専門性を武器に側面から支援する専門家集団であり、JISHA 方式適格 OSHMS 認定制度をはじめとした各種活動を展開している。

DNV GL は「生命・財産・環境の保護」を企業理念に掲げ、ノルウェー・オスロに本部を置く自主独立財団であり、労働安全衛生に関するレーティングサービス「ISRS」等の各種リスクマネジメントサービスをグローバルに提供している。

評価手法

労働安全衛生管理に関する具体的なベストプラクティスを定義したチェックリストを用いて組織の OSHMS を評価し、その結果を定量的なレベル評価により報告します。その際に、自社に不足する具体的な実践内容も提案しますので組織として改善すべき内容が詳細かつ具体的に理解することが出来ます。

レベル評価という第三者の刺激を与えることにより、事業所・職場の組織に、
そして組織を構成する個々人に対して、効率よく安全衛生管理・活動を深化することができる。
その結果、現場力が向上し労働災害のない「安心・安全」な職場が形成される。



スコア制なので 現状を明確に理解できる

レベル評価の メリット	① 直接的な効果	アクシデントやプロセス停止による費用の削減
	① 効率的にキャッチアップ	ベストプラクティスを用いた末端プロセスの最適化
	① 考える安全の構築	ベンチマークによるパフォーマンスの比較
	① 方向性の確認	現状の強み・弱みを明確化
	① 人づくり・職場づくり	従業員に要求される改善事項特定と組織改善のモニタリング
	① 構内一体運用の強化	関係請負人を含めた構内一体運用の強化
	① 職場風土の改善	職場ルールの確実な遵守の確立
	① トップダウンとボトムアップの適正化	従業員のスキル向上と職場での行動文化の醸成
	① 社会的な評価	ステークホルダーへの安心・信頼の提供

OSH レベル評価の構成

領域	大項目
I 基盤と効果	1 労働安全衛生法等の遵守
	2 体制の確立
	3 労働者の参画
	4 明文化、記録
	5 地域とのつながり
	6 評価と効果
II 安全衛生管理の 方向性	7 安全衛生方針の表明
	8 安全衛生目標・計画の作成
	9 安全衛生計画の実施等

領域	大項目
III 自律人間、 考える職場	10 安全衛生諸活動
	11 作業手順書
	12 安全衛生教育
IV トータルヘルスの充実	13 健康づくり等
V リスクマネジメント	14 リスクの管理
	15 労働災害発生原因の調査等
VI 構内一体運用の強化	16 緊急事態への対応等
	17 構内物流・交通安全
	18 関係請負人（保全）

サービスの流れ（例）

お客様の取組例

※ 青枠は標準項目（有料）

基本的に基盤評価と総合評価は、2回に分けて実施しますが、
希望に応じて1回にまとめて実施も可能です。



レベルの表示方法

■ 基盤評価 3段階（標準・良好・優秀）で評価

■ 総合評価 10段階（Level 1～10）で評価

レベル評価サービス事務局

中央労働災害防止協会

tel.03-3452-6694

jisha-ms@jisha.or.jp



DNV GL Business Assurance, Japan

tel.078-291-1321

japan.info@dnvgl.com

